

コーチング解体新書

～やる気を引き出す源泉を探る～

その26 ビジョンのチカラ ここにあり



猪俣 恭子

中央大学文学部卒

卒業後足利銀行に7年間勤務。窓口業務を経て、人事部研修グループで社内研修の企画・運営および講師を担当。退職後は家業の印刷会社に従事。2004年からはコーチングを用いた社内の人材育成を手掛け、「良質なコミュニケーションが実現されている現場こそがビジネスの成功をうむ」と実感し、2006年Coaching Press株式会社を設立、代表取締役として現在に至る。

国際コーチ連盟プロフェッショナル認定コーチ

助生涯学習開発財団認定マスターコーチ

コーチ21CTPクラスコーチ

米国CCE, Inc.認定 GCDF-Japan キャリアカウンセラー

「猪俣さんのビジョンはなんですか？ 会社をこれからどうしたいんですか？」5年前、印刷会社に勤めていた頃です。若手スタッフがおもむろに尋ねてきました。さして深い意味はなかったと思います。ですが痛いところを突かれたと思いました。なぜなら、私には語れるほどのビジョンがなかったからです。「ああ、ビジョンね。それね、今真剣に考えているところ。」なんともぱっとしない私の態度に、悪いことを聞いてしまったと咄嗟に思ったのか、Aくんの表情がさっと曇りました。その反応に慌てた私は、「でもね、はっきりしたら話すね。」とあたふたと伝えると、Aくんはほっとしたように「はい、待ってます。」と安心したように仕事を続けました。

当時の私はビジョンを懸命に作ろうとしていました。他の会社で使われている体裁のいい言葉を選んで紙に書き出し、言葉と言葉をつなぎあわせていました。時間をかけてできたその文章は、見目うるわしくも言語明瞭意味不明。それはそうでしょう。他からの借り物の表現なのです。口にだして読んでみても何か他人事。残念なことに、私は情熱を込められるほどのビジョンを描くことは最後までできませんでした。私がこうなのですから、同じ業務の繰り返しの夢と期待が感じられないスタッフの中には、もっとスキルアップしたいと退職する人が何人も続きました。苦しい思い出です。

しかし、この体験から大切なことを学びました。社員はそもそもバックグラウンドや価値観も考え方も全くばらばらで当然です。社員同士のつながりはありません。ですが、全社員共通のビジョンがあれば、そこではじめて仲間意識がふつふつとわいてくるのではないのでしょうか。なんのためにこの仕事をしているのか、それは会社や自分のこんなビジョンにつながっていると、今していることが未来につながっていると実感もてたとき、本当の意味で社員のモチベーションはあがり、仕事にやりがいを感じられるようになるのではないのでしょうか。きっとそうだと、私は確信しています。

これはあるクライアントの例です。その方はモノづくりで15年近くのキャリアがありました。しかし突然

営業所への異動が命ぜられたのです。見方によっては、この異動は非常に不本意で、彼の技術者としてのキャリアもここで途切れるようでもあり、その状況が痛ましく感じました。しかし彼は静かにこう語ったのです。「私のビジョンは私と同じように車好きの人たちにもっともっと車を楽しんでもらいたいことです。ですから、営業所にいってもやれることはたくさんあると思います。逆にあらゆる業務を経験できる機会ですから、将来マネジャーとして仕事をするときの基盤づくりにもなると思っています。」と。聞いていて私は彼を応援したいと心底思いました。ビジョンにはこのように人を魅きつける力があること、そして環境の変化に「反応」せずに「対応」できる力があることをあらためて実感しました。

今の私のビジョンは「働く人が喜びあふれる世界を創る」、ミッション（使命）は「人はダイヤモンドの原石。それを磨いてより輝かせるのが私の役割」。ビジョン実現のためのゴールは（いくつかあるうちの1つを紹介しします）「成功したいのなら猪俣を雇えと評されるコーチになる」です。こういう仕事をしていまして、思わずそのキャリアに圧倒されそうな経営者や幹部の方と正面から向き合うことがあります。「私なんて…」という心のつぶやきがおきる時には、必ずビジョンを心に描きます。そうすると、不思議なことに肩の力が抜けて、今何をすべきかに集中することができるようです。「目の前のこの人が、会社の部下やお客様や家族や友人に、今まで以上にいい影響を与えられるようになるために、私にできることは何だろう？」どうやら私にとってビジョンにはこのような効果もあるようです。

あなたは何かできるのか？ あなたは何をしてきたのか？ あなたは何をやりたいのか？ あなたはなぜそれをやりたいのか？ あなたの人生をどのようなものにしていきたいのか？ あなたの心の内側に既にあるビジョンを、このような問いかけをしながら伸びやかに引きだしてみてください。それが整理された時には、何よりも決断が早くなり、今まで以上に爽快な自分を手に入れられることと思います。



Coaching Press

コーチングプレス株式会社

〒336-0021 埼玉県さいたま市南区別所6-17-310 電話 048-863-8914 FAX 020-4665-3162

<http://www.coaching-press.com/> (「コーチング解体新書」バックナンバーも掲載中!!)